

表中の最終年度の「目標値に対する進捗率」のうち、平成30年度の 実績値が判明していない項目は、判明している直近の実績値を用いて

〇千葉県地方創生「総合戦略」の推進に当たり設定している 12 項目の数値目標[※]について、計画期間(平成 27 年度~令和元年度)の最終年度前年に当たる平成 30 年度までの 4 年間の進捗状況を整理しました。※再掲除く 〇12 項目の数値目標のうち、「①観光入込客数」など 11 項目で目標達成に向け進展している一方、「④県内製造品出荷額等」では戦略策定時の数値を下回り、進展していない状況です。





【策定時からの状況変化を踏まえた課題】

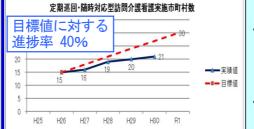
・人口減少の中で高齢者が増加する超高齢社 会を活力あるものにしていく必要がある

介護人材の不足

【次期関略を見据えた取組方針】

牛涯大学校の運営や市町村における介護子 防の取組の支援等による高齢者の社会参加 と健康づくりを支援

・介護職場への就業促進、介護職員のキャリ アアップに向けた市町村等の取組支援



して補助金を交付

【策定時からの状況変化を踏まえた課題】

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、地 包括ケアシステムの中核的な役割を担うサ ービスであるが、採算面等から事業者の参 入が伸び悩んでいる

目標値に対する

H25 H26 H27 H28 H29 H30

進捗率 64.2%

20.617

【次期戦略を見据えた取組方針】

・今後とも普及啓発を進めるとともに、地域 医療介護総合確保基金の活用による支援に 取り組む

(英語 573 名、中国語 60 名、韓国語 21 名、ス ペイン語 10 名) を養成し、目標を達成

顕著であり、オリパラ開催時に限らず、多 言語コミュニケーション支援の継続が必要

・2020年東京オリンピック・パラリンピック 開催後も、多言語コミュニケーション支援 活動に従事していただけるよう、民間団体

への働きかけ等ボランティアの活用を検討

・水田農業は、規模拡大による低コスト化を

・畜産業は、畜産経営安定のため、自給飼料

力の低下や農地の維持管理が困難な地域が

地集約等による競争力強化や高付加価値・

・人口 10 万対医師数が全国 45 位など医療 資源が不足している中、高齢者人口の急増

に、患者を在宅医や訪問看護師等のチーム で支える在宅医療連携拠点の整備を支援

全国トップクラスの 450 万円とし、市町村 との連携により4年間で5,191床を整備

・入所待機者数は依然として 1 万人を超えて おり、引き続き計画的に整備を進める必要な あるが、地域によっては、今後高齢者の減少 が見込まれる市町村もある

【次期戦略を見据えた取組方針】

━=実績値

--- 目標値

・市町村と連携して地域の実情に応じた整備 を進める